

一部新規

担当 こども支援課 放課後児童クラブ担当 内線 3322
こどもの居場所担当 内線 3348

目的

小学校への登校時間が、保育所の預かり開始時間より遅いことによる、いわゆる「朝の小1の壁」を解消するため、小学校開始前の朝の時間にこどもを預かる場を整備するモデル事業を実施する。

また、こども・若者が安心して過ごすことができる、こども食堂等のこどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営等を包括的に支援する。

事業概要

1 朝のこどもの居場所づくり

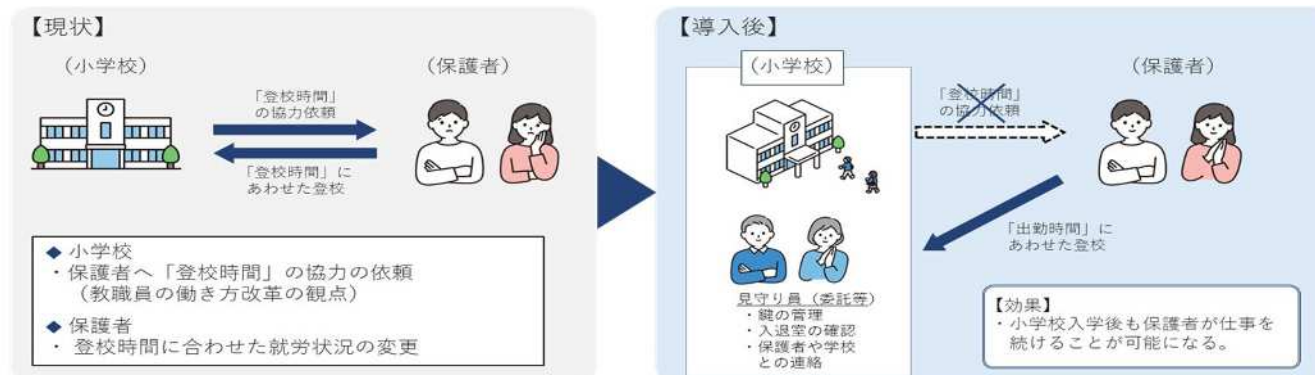
5,574千円

(1) 朝のこどもの居場所づくりモデル事業（新規）

5,574千円

- ・ 小学校等に見守り員を配置し、こどもを見守る「朝のこどもの居場所づくり」の整備をモデル事業として取り組む市町村に対して補助を実施・検証を行う。

(事業イメージ)



2 こどもの居場所づくりの支援

26,545千円

(1) こども・若者と共につくる居場所づくりの支援

26,545千円

こどもの居場所の認知拡大及び潜在的な担い手、支援者の掘り起こしのため、「こどもの居場所フェア埼玉」を開催する。

また、「こどもの居場所づくりアドバイザー」を各地域に派遣し、こどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営を支援する。



「こどもの居場所フェア埼玉」の開催の様子